



わらしべの里通信

社会福祉法人
わらしべの里

第15号(通巻29号)
発行日
2008年10月01日
発行所
わらしべの家
パソ工房

おとくほ

今年も十月に入った。

当節のはやり言葉は「チェンジ」。わらしべの里では、昨年度は大きなチェンジの年であった。一部の職員さんが退職し、その数だけ新任の方たちを迎えた。四月一日には、施設長の交替もあった。

それから半年、わらしべの家の施設の運営は軌道に乗り、利用者(仲間たち)の笑いが見られる障害者通所授産施設の日常が実現している。

この流れの中で、これから一、二年のうちには障害者自立支援法による「新施設体系に移行していくこと」となる。利用者の立場に立ってさらに大きくチェンジしていくことが課題である。
金坂直仁

「十月から、一生懸命やります」

「みんなと仲良くできる

仲間の会にしたい」

新役員へ五人、立候補する

平成十八年度に選ばれた仲間の会役員が、九月三十日で任期満了になるのに伴い、十月一日からの役員を選ぶ「平成二十年度・仲間の会役員選挙」が九月五日午後、行われた。選挙は、「役員になりたい」と申し出た五人による立ち会い演説会のあと、仲間二十六名で投票票された。

演説会では、今のわらしべの家を反映してか、「みんなと仲良くできる仲間の会にします」という趣旨の約束が相次いだ。

女性の会長、

二〇〇二年以来六年ぶり

投票の結果、新会長には「みんなと一つ一つ仕事を決めたい」と約束したマロンさんが、選ばれた。会長を支える新副会長には「一人、一人の意見をよくきいて、活発な仲間の会にしたい」と約束した混むさんが選ばれた。書記には、みんなか

ら弟のように慕われているクロ君、笑顔が印象的なシルクさんの二名が、そして、サポート役にはシロさんが選ばれた。

当選確定後、新役員は「よろしくお願ひします」と挨拶し、橋本施設長にも、激励された。女性が、会長を務めるのは、二〇〇二年以来、六年ぶり。マロンさんは、「開票結果に驚いた」と、話す。常に

笑い声が絶えない新体制、仲間の会は、ますます明るく活発になるだろう。任期は、二〇〇八年十月一日から二〇一〇年九月三十日まで、二年間。(P.0R)



わらしべの家仲間の会風景



仲間の会役員選挙、行われる





日帰り旅行に行ってきました



実りの秋を満喫する



梨狩りに向かうバスの中は、笑顔満開！

九月十九日、わらしべの家を含む栃木市内の施設に通う仲間たちは、宇都宮市の「ろまんちっく村」と「フルーツパーク古賀志」をめぐる栃木市障害者施設協議会(栃障協)主催の「日帰り旅行」に出かけた。

空は、厚い雲が立ちこめていたが、旅行に参加を希望した仲間には、この日を心待ちにしていたような笑顔を浮かべながら、三台のマイクロバスに分乗、バスはた

くさんの笑顔を寄せ、旅行へ出発。二年四ヶ月ぶりの旅行にバスの中は、会話の花が咲いていた。

会話の花が七部咲きから満開になりかけたところで、最初の目的地「ろまんちっく村」に到着。新鮮な野菜が買えたり、一年を通して、様々な植物が観られる農林公園を参加者たちは、ゆっくりとした足取りで、美味しい空気を吸いながら、美味しい食べ物を片手に散策した。特に、「熱帯温室」では天井まで青々と茂る緑を見上げたり、植物に少し触ってみたりと、普段見ることのできない熱帯雨林の生態に関心を寄せていた。

ろまんちっく村では、のんびり梨狩りでは歓声響く

ランチの後は、「フルーツパーク古賀志」で梨狩りを楽しむ。前日までの大雨の影響で、畑はぬかるみ、靴や車いすのタイヤは、真っ黒になった。しかし、参加者たちは自分より少し高いところに実った、まるまる太った梨を時にやさしく、時に勢いよくもいでいた。もぎ終わると参加者たちは、口いっぱい梨をほおぼり、口の中から身体全体に広がる秋を何度も、味わっていた。



梨園で、じっくり品定め中

参加者たちは、わらしべの家に帰ってきてから「梨を思いのほか、簡単にもぎることができて、うれしかった」と話したり、「ろまんちっく村にあった噴水に涼しさを感じた」、「次回は、りんご狩りにいきたい」と話していた。(混む)



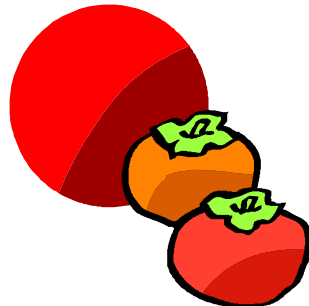
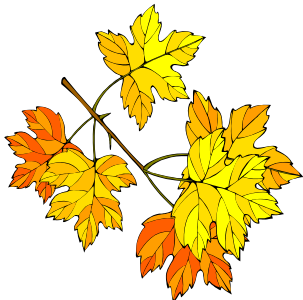


社会福祉法人 わらしべの里 (就労支援事業)
貸借対照表 2008(平成20)年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	17,504,583	流動負債	2,887,405
現金預金	9,723,396	未払金	2,667,653
未収金	7,781,187	預り金	219,752
固定資産	82,922,140	固定負債	6,571,992
基本財産	69,837,663	設備資本借入金	5,825,000
建物	57,844,441	退職給与引当金	746,992
土地	11,993,222	負債の部合計	9,459,397
その他の固定資産	13,084,477	純資産の部	
構築物	1,990,219	基本金	9,417,200
車両運搬具	2,399,062	基本金	9,417,200
器具及び備品	3,984,639	国庫補助金等特別積立金	38,089,097
施設設備等積立預金	3,062,765	国庫補助金等特別積立金	38,089,097
その他の固定資産	1,647,792	その他の積立金	3,062,765
		設備整備等積立金	3,062,765
		次期繰越活動収支差額	40,398,264
		次期繰越活動収支差額	40,398,264
		純資産の部合計	90,967,326
資産の部合計	100,426,723	負債及び純資産の部合計	100,426,723

法人本部会計
資金収支計算書 平成19年4月1日～平成20年3月31日

科目	金額	科目	金額
寄付金収入	24,800	人件費支出	175,300
寄付金収入	24,800	役員報酬	175,300
受取り利息配当金収入	251	事務費支出	300,368
受取り利息配当金収入	251	旅費交通賃	194,440
経理区分間繰入金収入	430,000	研修費	4,200
経理区分間繰入金収入	430,000	消耗品費	3,190
		通信運搬費	23,380
		会議費	6,558
		業務委託費	58,600
		雑費	10,000
		小計	475,668
		当期資金収支差額合計	▲20,617
合計	455,051	合計	455,051



社会福祉法人 わらしべの里 (公益会計)
貸借対照表 2008(平成20)年3月31日現在(単位:円)

資産の部		純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	134,057	次期繰越活動収支差額	134,057
現金預金	134,057	(うち当期経営活動収支差額)	75,337
		純資産の部合計	134,057
資産の部合計	134,057	負債及び純資産の部合計	134,057

わらしべの家
資金収支計算書 平成19年4月1日～平成20年3月31日

科目	金額	科目	金額
就労支援業収入	3,339,845	就労支援業支出	3,428,120
請負事業収入	2,105,392	請負事業支出	2,119,977
自主製品事業収入	348,044	自主製品事業支出	369,006
IT事業収入	356,410	IT事業支出	362,398
リサイクル事業収入	529,999	リサイクル事業支出	576,739
自立支援費収入	45,114,915	人件費支出	26,776,647
訓練等給付費収入	39,671,878	職員俸給	10,343,800
利用者負担金収入	2,779,362	職員諸手当	5,010,589
特定費用等負担金収入	2,663,675	非常勤職員給与	7,932,378
経常経費補助金収入	860,145	退職金	286,650
経常経費補助金収入	860,145	退職共済掛金	735,360
雑収入	1,011,680	法定福利費	2,467,870
雑収入	1,011,680	事務費支出	11,769,192
受取り利息配当金収入	26,027	福利厚生費	485,239
受取り利息配当金収入	26,027	旅費交通費	28,268
その他の収入	180,000	研修費	18,835
その他の収入	180,000	消耗品費	129,267
		器具什器費	268,320
		印刷製本費	478,958
		水道光熱費	288,038
		燃料費	219,619
		修繕費	1,166,943
		通信運搬費	120,194
		会議費	1,111
		広報費	68,433
		業務委託費	6,055,988
		手数料	60,844
		損害保険料	1,046,580
		賃借料	924,090
		租税公課	27,700
		雑費	380,765
		事業費支出	2,806,166
		保健衛生費	158,725
		教養娯楽費	120,362
		日用品費	16,798
		水道光熱費	693,334
		燃料費	573,944
		消耗品費	566,555
		器具什器費	191,988
		賃借料	448,800
		医療費	2,020
		雑費	33,640
		借入金利息支出	260,772
		借入金利息支出	260,772
		経理区分間繰入金支出	430,000
		経理区分間繰入金支出	430,000
		固定資産取得支出	1,355,000
		車輪運搬具取得支出	1,250,000
		器具及び備品取得支出	105,000
		借入金元金償還金支出	2,004,000
		施設資金借入金償還金支出	2,004,000
		積立預金積立支出	2,002,141
		施設設備等積立金積立支出	2,002,141
		小計	50,832,038
		当期資金収支差額合計	▲299,426
合計	50,532,612	合計	50,532,612

日中一時支援
資金収支計算書 平成19年4月1日～平成20年3月31日

科目	金額	科目	金額
利用料収入	4,800	事務費支出	7,200
利用料負担金収入	4,800	業務委託費	7,200
経常経費補助金収入	77,560		
経常経費補助金収入	77,560		
受取り利息配当金収入	177		
受取り利息配当金収入	177		
		小計	7,200
		当期資金収支差額合計	75,337
合計	82,537	合計	82,537



☆保護者会主催で 作業参観、「緊張した」☆

七月十一日午後、「普段、仕事をしている子供の様子が観てみたい」と、保護者会主催で「作業参観」が開催された。これまで多くの見学者を受け入れてきたわらしべの家としても、初めての試みとなった。

作業参観に参加した十五名の保護者たちは、プラスチック部品組み立ての様子、バイオ・ディーゼル燃料精製の様子、さをり織り反物製作の様子、名刺作成・ホームページ作成の様子などゆっく

☆おりひめ様、願いをかなえて☆

七夕の日は、一年に一度だけ「おりひめ(織女)」と「ひこぼし(牽牛)」が天の川の上でデートをする日といわれ、おりひめ星に技芸の上達を願うとされている。

わらしべの家でも、七月四日の午後から仲間の会主催で「七夕の会」が開かれ織女と牽牛の一年ぶりの再会を仲間たちで祝った。

今年の七夕の会では、橋本施設長から朗読のプレゼントもあった。施設長が七夕の由来をゆっくりとした口調で語り始めると、仲間たちはまぶたを閉じ、話に聞き入っていた。朗読が終わると、食堂は、拍手に包まれた。「七夕の由来は、知っていたんですけど、今日改めて理解できました」と施設長にお礼を言う仲間もいた。

七夕飾りが施された笹の葉に

りとした足取りで見まわり、自分の子供と一緒に働いている人を激励していた。

参観を終え、七夕飾りが施された笹の葉につるされた短冊一枚、一枚を「自分の子供は、どんな願い事をしたのだろうか」と、じっくり読む保護者の姿もあった。

激励された仲間は、「反物を織っているところを見せてあげられなかったけど、さをり織りのことを話せて、うれしかった」、「反物をほめられて、うれしかった」、「参観は、学校以来だったから緊張した」と話し、「帰りの会」でも施設長の質問に「どきどき、緊張した」と答えていた。(混む)

つるされた短冊には、「みんなと仲良く頑張りたい、家の中で手伝いをできるよ」

うになりたい」、「今の幸せが、これからも続きますように」、「料理がうまくなりますように」といった自分の願い、将来への希望がこめられていた。

短冊を見ながら、ある支援員は「みんな自分の願い事も、多いけど、みんなのことを心配する願い事も多いなあ」と感慨深そうに話していた。

「七夕の会」は、「競争が一番になるよりも、その人が持つ個性が大事だ」という意味を持っていて、わらしべの家に通うみんなの心の歌である「世界に一つだけの花」を全員で合唱して、終了した。(混む)



七夕飾りを施された笹の葉



社会福祉法人わらしべの里

『わらしべの里通信』第15号(通巻29号)
 発行元 社会福祉法人わらしべの里
 発行責任者 金坂 直仁
 編集者 わらしべの家パソ工房
 〒328-0011 栃木市大宮町2708-3
 電話 0282-27-1627
 Fax 0282-27-1675
 E-mail warasi-nk@cc9.ne.jp (事務所)
<http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/>

〜 編集後記 〜

今年度、二回目のわらしべの里通信が発行です。

さて、今年中国で北京オリンピック・パラリンピックが開催されました。

以前、僕は中国へ、金坂理事長のとりはからいで、二度行ったことがあるので、テレビで天安門広場など、放映されると、懐かしく見えました。

日本代表の選手たちも沢山オリンピックに参加し、メダルに届いた人も届かなかった人も、その陰には涙と汗の戦いをしての大舞台だと思います。

すべての競技種目が熱戦の末、無事、終わってみんなに大きな拍手を送りたいと思う。「ご苦労様でした」

大勢の観衆の前で競技を戦うことが、とてもとても素晴らしいと思う。

僕も大きい舞台に出て競技したいなあ……。いよいよ、季節は秋です。秋は、山の紅葉がとてきれいなシーズンですね。とても楽しみにしています。(範)